



辰  
令和6年

# 謹賀新年

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より市政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、7月にはシーサイド道路の通行が再開されたことなどから、海水浴やスポーツ合宿に、多くの方が神栖市へお越しになりました。また、舞っちゃげ祭りやきらっせ祭りといった大規模なイベントをはじめ、各地区のさまざまな催しが数年ぶりに開催され、市民の皆様が楽しめる姿を拝見し、まちがようやくにぎわいを取り戻したように感じました。これも、コロナの発生からこれまで、市民や企業の皆様の感染防止対策、医療機関の発熱外来や入院患者受け入れ、消防本部の迅速な救急対応による「オール神栖」で対応したからこそ成し得たことと、あらためて感謝を申し上げます。

コロナ禍から脱したと言われる一方で、長引く物価高により、生活への不安を感じている方も多いことかと思えます。市といたしましては、今後も国や県と連携し、物価高騰対策を講じていくとともに、今年4月から本格稼働する新ごみ処理施設の整備など、市民の皆様生活をより良くするため、各施策に取り組んでまいります。

さて、現在、市では第3次神栖市総合計画を策定し、重点的、優先的に取り組むべき施策や事業を、5つの重点プロジェクトとして位置付け、全庁的、横断的に推進しています。中でも防災・医療の安心プロジェクトでは、施設整備や体制構築などの取り組みの充実を図り、誰もが安心を感じながら暮らしていける環境を整えてまいります。

また、子育て日本二プロジェクトでは、若い世代への切れ目のない支援、このような中、市議会におきましても、先進自治体への視察調査や各種研修会への参加を通じ、議員一人ひとりが市政に対する知見を深め、当市が抱えるさまざまな課題や施策について行政と議論を重ね、効果的な提言などを行なってまいります。また、議会の活動を、市民の皆様により分かりやすくお伝えできるよう、一般質問に質問方式選択制を導入するなど、議会改革にも取り組んでまいります。



子育てと仕事の両立支援など、子育てしやすい施策を進めてまいります。この他、鹿島臨海工業地帯の競争力の強化や地域資源を生かした人々の交流促進、誰もが生きがいを持って生活できるまちづくりを目指してまいります。

これからも、神栖市のさらなる発展と魅力ある誇れる神栖市の実現へ向け、全身全霊で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい飛躍の年となりますことを祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

神栖市長  
石田 進

本年2月には、市議会議員の任期満了に伴う改選を迎えますが、物価高騰への経済対策をはじめ、地域医療体制の整備や子育て支援策のさらなる充実、安全・安心なまちづくりなど、市政には課題が山積しています。議会としましては、今後も議会の果たすべき役割と責任を自覚し、

市民の皆様のご意見を市政に反映し、将来神栖に住んで良かったと感じてもらえるように、議員一同全力で取り組むとともに、一人でも多くの市民の皆様に関心を持っていただけるよう、よりいっそう開かれた議会改革にも力を入れてまいりますので、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新しい年が、市民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心から祈念いたしました。年頭のごあいさつとさせていただきます。

神栖市議会議長  
五十嵐 清美

